







科目名	映像制作		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	テーマを映像で表現するための撮影・編集方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月28日	授業ガイダンス テーマに沿った映像制作 I ①(企画、絵コンテ制作)			
2	12月05日	テーマに沿った映像制作 I ②(撮影)			
3	12月12日	テーマに沿った映像制作 I ③(編集)			
4	01月23日	テーマに沿った映像制作 I ①(企画、絵コンテ制作)			
5	01月30日	テーマに沿った映像制作 II ②(撮影)			
6	02月06日	テーマに沿った映像制作 II ③(編集)			
7	02月13日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				













科目名	スチール実習I		担当講師	高橋 吉之	
講師実務経験	カメラ修理会社、写真撮影および編集会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	一眼レフカメラの基本操作の習得、撮影意図を反映させるための操作方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	12月1日	ガイダンス、写真に求められるもの、使用するカメラの基本操作方法			
2	12月8日	フルオート、オートでの撮影方法、露出補正、フォーカスの合わせ方			
3	12月15日	絞り、シャッタースピードの効果と操作方法			
4	1月19日	構図の種類、交換レンズの特徴と使い分け			
5	1月26日	撮影場面や、被写体ごとの撮影モードの使い分け			
6	2月2日	作品制作①計画立案とロケハン			
7	2月9日	作品制作②撮影、セレクト、提出			
8	2月16日	作品レビュー、復習、試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント都度配布				
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	ニュース・時事問題を読み解き、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。				
対象学年	1 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者		講義
期 間	前期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間 45 分	
修 得 目 標	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動への活用法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	12月1日	直近のニュースについて①			
2	12月8日	直近のニュースについて②			
3	12月15日	直近のニュースについて③			
4	1月19日	直近のニュースについて④			
5	1月26日	直近のニュースについて⑤			
6	2月2日	直近のニュースについて⑥			
7	2月9日	直近のニュースについて⑦			
8	2月16日	講義振り返り、試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	8時間中3時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	就職対象専攻		講義
期 間	前期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	企業情報の収集、就職活動計画や応募書類等、就職活動準備方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	12月1日	就職用写真の撮影準備について			
2	12月8日	自己PR作成のポイント(応募用)			
3	12月15日	志望動機作成のポイント(応募用)			
4	1月19日	エントリーシートの質問項目と解答例			
5	1月26日	応募条件について考える			
6	2月2日	過去求人の紹介/応募企業の選定			
7	2月9日	面接対策			
8	2月16日	春休み中に出来る事/3月の求人公開に向けて			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	無し				
注意事項	8時間中3時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践期間(K-1ライブ前)		担当講師	東峰 康二・田端 優一・岡 宏樹・水上 志乃 高橋 吉之	
講師実務経験	映像技術関連業務				
対象学年	1 学年	対象コース	ビジュアルクリエイトコース		授業形態
期 間	後期	総授業回数	28 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	K-1ライブの実施を通して、ライブ撮影・編集の基礎を修得する。 全てのコースを同時に準備を進め、セクションを跨いだコミュニケーション力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	K-1ライブ実施概要/セクション決定/イベント概論			
2	10月11日	ライブ撮影実習①			
3	10月12日	ライブ撮影実習②			
4	10月13日	ライブ撮影実習③			
5	10月16日	VE実習①			
6	10月17日	ライブ撮影実習④			
7	10月18日	編集基礎実習①			
8	10月19日	編集基礎実習②			
9	10月20日	編集基礎実習③			
10	10月23日	VE実習②			
11	10月24日	編集基礎実習④			
12	10月25日	編集基礎実習⑤			
13	10月26日	ストリーミング実習①			
14	10月27日	ストリーミング実習②			
15	10月30日	スチール撮影実習①			
16	10月31日	スチール撮影実習②			
17	11月1日	K-1ライブプランニング、行程表制作、打ち合わせ/確認事項			
18	11月2日	Kissホールロケハン/プランニング、カット割り制作、図面制作、配信進行表制作①			
19	11月6日	プランニング、カット割り制作、図面制作、配信進行表制作②/演出用映像プランニング			
20	11月7日	演出用映像素材撮影①			
21	11月8日	演出用映像素材撮影②～書き出し			
22	11月9日	演出用映像素材編集①/各専攻スチール撮影			
23	11月10日	技術確認/演出用映像素材編集～プレビュー～ダメ出し			
24	11月13日	各素材確認、Kissホール仕込み準備			
25	11月14日	Kissホール仕込み			
26	11月15日	ホール内撮影技術確認/出力チェック～修正①			
27	11月16日	ホール内撮影技術確認/出力チェック～修正②			
28	11月17日	ホール内撮影技術確認/出力チェック～修正③			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	168時間中 57時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				